

同窓会会員数

(2026年1月現在)

旧高女卒	2,043名
旧因島高校卒	15,206名
旧因島北高校卒	7,852名
因島高校卒	3,289名
計	28,390名

定時制・分校卒業者含む



広島県立
因島高等学校
同窓会報

2026年2月15日発行

発行者 広島県立因島高等学校同窓会
会長 木村修二
事務局 尾道市因島重井町5574
(因島高等学校内)
電話 (0845) 24-0708
FAX (0845) 24-3585

<http://0845.booo.jp/doso/>



令和8年の決意

因島高校同窓会会長 木村修二

同窓生の皆様方におかれましては、令和8年の新春をご家族おそろいで、穏やかに過ごされたこととお慶び申し上げます。

1月には、Ryokann尾道西山を舞台に囲碁の国内最高峰タイトル戦「棋聖戦第2局」が一力遼棋聖に芝野虎丸十段が挑戦者として対局されました。

今回の開催は、尾道市合併20周年記念事業の一環として実施され旧因島市から尾道市に引き継がれた「市の技(囲碁)」を象徴するイベントとして行われました。これを機会に囲碁熱が高くなることを熱望しています。

昨年を振り返ってみますと、同窓会会長になって、4年目を迎え、6月には、東京支部総会に参加し、6年ぶりに東京での支部活動が再開されたことに喜びを感じたところです。

また、8月本部の総会を当番回生ではなく、本部役員が計画して、今年度は進めました。総会で、今年の運営方針等承認を頂き、役員改選を認めていただき運営させていただきました。

因島高校同窓会組織が時代に合わなくなり、当番回生

の卒業生が少なくなっている現状で、彼らに無理をいえないと感じています。この機会に、今までの組織を見直し、スリムな組織に変革して、同窓会の在り方を考えて行きたいと思っています。

地域にとっても高校生にとっても、魅力ある因島高校でなければいけません。

同窓会の改革を進める中で、総会の時期についても色々ご意見を頂きながら対応して、8月15日を中心に盆での実施を続けてまいりましたが、次の総会は5月5日に実施します。

在校生は、学園生活を謳歌し、クラブ活動等で全国大会への出場等が増えて、活気ある因島高校に育っているように感じています。そんな母校を応援していきたい。その為、クラブ活動を支援する基金制度の充実をPTAとも協議して創生していけたらいいと考えています。

アツという間の3年間です。

社会に出てから役に立つ人間になるためには、思考力・発信力・行動力、そして自己肯定力が大事になります。自分を信じ仲間と協力できる協調性を持ち力強く生きていただきたいと願うばかりです。

この島に生まれ育った誇りと 自信を持って学び続ける生徒の育成

広島県立因島高等学校

校長 中西 正典



令和7年度末を迎え、本校の生徒たちが同窓会をはじめとする地域の皆様の御支援により、着実に成長していることを実感しています。同窓会の皆様から格別の御支援・御協力をいただいておりますこと

に対し、心から御礼申し上げます。

本年度は、全日制168名、定時制26名の在籍生徒でスタートし、授業や学校行事、部活動等に取り組んでまいりました。この場をお借りして、本年度の学校の様子について御報告いたします。

まず、進路決定状況です。全日制は、1名が国立大学、12名が私立大学、1名が短期大学校、26名が専門学校に合格、1名が公務員、10名が企業から内定をいただいております。なお、この原稿を執筆している12月末時点で5名が国公立大学への進学に向けて挑戦を続けています。

また、定時制は、1名が私立大学に合格、1名が公務員、4名が企業から内定をいただいております。

このように、全日制・定時制ともに、個別最適な指導を行うことにより、生徒の希望に応じて幅広い進路に対応し、実現することができています。

次に部活動の実績です。全日制は、陸上競技部がインターハイに出場し、囲碁部も全国大会に出場しました。体操部の男女は中国大会に出場し、硬式野球部は、単独チームで夏の予選に出場し、秋季大会は、松永高校との合同チームで勝利することができました。また、書道部は、尾道警察署因島分庁舎で飲酒運転撲滅の大書を展示したり、INNOしまみらマルシェで書道パフォーマンスを披露したりしました。さらに、多くの生徒が絵画、書道、写真、標語及び読書感想文のコンテストやコンクールにおいて入賞や入選を果たしています。

定時制は、バドミントン部が東部大会、県大会で上位入賞を果たして全国大会に出場し、2回戦まで進出することができました。また、因島水軍まつり小早レースの順位決定戦において、1着でフィニッシュすることができました。さらに、複数の生徒が検定試験に挑戦し、資格取得を果たすことができています。

さて、総合学科である全日制では、地域の皆様の御協力をいただき、事業所インタビューや事業所PR動画報告会、地元企業見学などの探究活動を行うことにより、就職から進学まで、それぞれの生徒の希望に応じた進路を実現することができています。

また、普通科である定時制では、「学校生活と仕事の両立」を果たしながら、落ち着いた雰囲気の中で学習するとともに、ハロウィンパーティーやもちつきなど、毎月行われる学校行事で大いに盛り上がるとともに、自己肯定感を高め、充実感や達成感を獲得することができています。

これからも、因島高校は、生徒一人ひとりに寄り添って丁寧な指導を行い、それぞれの目標を達成し、進路を実現できるよう学校全体で取り組んでまいります。引き続き、「この島に生まれ育った誇りと自信を持って学び続ける生徒の育成」に向けて、同窓会の皆様の御支援と御協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

校訓 『自重互敬』

～自分を大切にし
周囲の人もまた尊重し敬う～





全日制課程

令和6年4月～令和7年1月

令和6年度卒業生 進路状況

【国公立大学】

岡山大学(教育学部)・山口大学(人文学部2名)
香川大学(経済学部)・香川大学(創造工学部)
福山市立大学(都市経営学部)・福山市立大学(教育学部)
尾道市立大学(経済情報学部2名)
特別進学コースの生徒のうち、70%が国公立大学へ
現役合格!

【私立大学】

関西学院大学・近畿大学・北里大学・広島修道大学・
川崎医療福祉大学・岡山理科大学・福山大学(他多数)

【国立短期大学校・国立専門学校】

福山職業能力開発短期大学校

【私立専門学校】

大阪医療センター附属看護学校・福山医療専門学校
尾道市医師会看護専門学校(他多数)

【公務員】

陸上自衛隊

【就職先】



トヨタ自動車株式会社・株式会社クボタ・
JFEスチール株式会社西日本製鉄所・株式会社松井
株式会社アイメックス・株式会社プレヒまわり
カインドネス・社会法人特別養護老人ホームリーフ明神
株式会社やまみ(他多数)

◎入学式



4月8日(火)、61名の新入生を迎え入学式を挙行了しました。

新入生は大きな声で呼名に答え、逞しい姿で高校生活のスタートを切りました。



◎新入生歓迎球技大会

5月28日(水)、新入生歓迎球技大会が開催されました。前日までの雨天で開催が危惧されましたが、無事、全校生徒で楽しく大会を迎えることが出来ました。

男子は2年2組、女子は3年3組が優勝しましたが、2年生と3年生が大接戦でした。



◎文化祭

テーマ「青春群像～to become best moment～」

6月13日(金)、文化祭を開催しました。1日での実施で企画も盛りだくさんだったため、あっという間に時間が過ぎていきました。今年度も3年生が模擬店を担当し、食中毒や感染症の予防に配慮して「フランクフルト」、「アイスクリーム」、「フライドポテト」を販売し、大盛況でした。笑顔あふれる文化祭になりました。



◎体育大会

テーマ『煌星心結 ～勝利の星へ～』

9月26日(金)、体育大会が行われました。伝統種目の3年生による跳躍運動や着付け競争も上々の出来でした。

保護者・御家族の方にも観覧していただき、多くのご声援を受け大変盛り上がりました。生徒も競技のみでなく、練習から準備・運営・片付けまで全員が全力で取り組み、とてもスムーズな進行で充実した大会となりました。

結果は、優勝3年生350点、2位2年生341点、3位1年生328点という稀に見る大接戦となりました。



◎修学旅行

10月14(火)～17日(金)、2年生が3泊4日で関東方面への修学旅行へ行ってきました。1日目は浅草寺で散策しサンセットクルーズで夕食。2日目は上野公園を散策し劇団四季の「アナと雪の女王」を観劇、そしてスカイツリーで夕食。3日目は1日ディズニーシーを堪能。4日目はカップヌードルミュージアムでマイカップヌードル作りをして横浜中華街で昼食をとり、帰路につきました。とても充実した4日間でした。



◎挑戦する因島高校生の軌跡1

紹介できるのはごく一部ですが、因島高校生の部活動各種大会での受賞報告をします。県大会へと勝ち進んだ生徒も多く、因島高校の部活動はととても盛り上がっています！

陸上競技部

尾三地区総合体育大会

- 女子フィールド 4位
- 男子 100m 2位 村上 雄大
- 女子 砲丸投 1位 柏原 栞奈
- 女子 円盤投 1位 柏原 栞奈

広島県総合体育大会

- 女子 砲丸投 5位 柏原 栞奈
- 女子 円盤投 6位 柏原 栞奈

中国高校選手権大会

- 女子 円盤投 6位 柏原 栞奈

尾三地区選手権大会

- 男子 100m 1位 村上 雄大
- 男子 200m 1位 村上 雄大

尾三地区新人大会

- 男子トラック 5位
- 男子 100m 2位 村上 雄大
- 男子 200m 2位 村上 雄大
- 男子 400m 3位 佐貫 瑛太
- 男子 走り高跳 3位 富久葵雄貴



体操部

尾三地区総合体育大会

- 【男子団体】 優勝
- 【男子個人総合】
- 1位 川崎 奏馬
- 2位 箱崎 柊人
- 4位 小田 穂泉
- 【女子団体】 優勝
- 【女子個人総合】
- 1位 田中 晴佳
- 2位 長尾 優羽
- 3位 古巣 あやめ
- 4位 宮地 莉生

広島県総合体育大会

- 【男子団体】 3位
- 【女子団体】 4位

尾三地区選手権大会

- 【男子団体】 優勝
- 【男子個人総合】
- 2位 天野琳太郎
- 3位 松井 真樹
- 4位 井上 太智
- 【女子団体】 優勝
- 【女子個人総合】
- 1位 宮地 莉生
- 2位 長尾 優羽

広島県高校選手権大会

- 【男子団体】 3位
- 【女子団体】 2位
- 【女子個人総合】
- 6位 田中 晴佳
- 7位 宮地 莉生
- 8位 古巣あやめ

【男子種目別 平行棒】 8位 小田 穂泉

【女子種目別】

- 跳馬 5位 田中 晴佳
- 平均台 6位 長尾 優羽
- 7位 田中 晴佳
- 8位 宮地 莉生
- ゆか 7位 田中 晴佳
- 8位 宮地 莉生
- 段違い平行棒
- 4位 宮地 莉生
- 6位 古巣あやめ
- 7位 田中 晴佳

尾三地区新人大会

- 【男子団体】 優勝
- 【男子個人総合】
- 2位 天野 琳太郎
- 3位 松井 真樹
- 4位 井上 太智
- 【女子個人総合】
- 1位 宮地 莉生

広島県新人大会

- 【男子団体】 3位
- 【男子種目別 つり輪】
- 7位 松井 真樹
- 8位 天野 琳太郎
- 【女子個人総合】
- 6位 宮地 莉生

【女子種目別】

- 跳馬 7位 宮地 莉生
- 平均台 6位 宮地 莉生
- ゆか 7位 宮地 莉生
- 段違い平行棒
- 3位 宮地 莉生



卓球部

尾三地区総合体育大会

【男子団体】 3位 【女子団体】 3位



囲碁部

全国高等学校総合文化祭広島県代表選考大会

【女子個人】 2位 根角 彩香

文部科学大臣杯全国高校選手権大会 広島県大会

【女子個人】 3位 根角 彩香

広島県高等学校選手権大会

【女子個人】 4位 松谷 優来

【級位戦】 2位 水野 亘

3位 田頭 幸和



◎挑戦する因島高校生の軌跡2

全国大会・中国大会に出場!!

陸上競技部 柏原葉奈さん インターハイ出場

3年次の柏原葉奈さんが6月21日(土)に行われた中国高等学校陸上競技選手権の円盤投げで6位に入賞し、7月27日(日)に開催された全国高等学校総合体育大会に、中国ブロック代表として出場しました。



体操部 中国大会出場

6月20日(金)~22日(日)に島根県浜田市で開催された、中国高等学校体操競技選手権大会に広島県代表として、

- 2年次 長尾 優羽さん
 - 3年次 田中 晴佳さん
 - 古巣あやめさん
 - 川崎 奏馬くん
 - 小田 穂泉くん
- が出場しました。

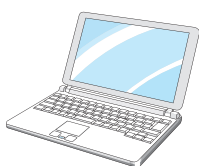
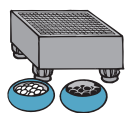


囲碁部 全国大会出場

3年次 根角彩香さんが、広島県代表として、7月26日(土)・27日(日)に香川県で開催された全国高等学校総合文化祭(かがわ総文2025)囲碁部門、及び8月4日(月)~6日(水)に東京都の日本棋院東京本院で開催された文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会に出場しました。



また、12月20日(土)・21日(日)に島根県立出雲高等学校で開催された中国高等学校囲碁選手権大会に2年次松谷優来さんと宮地虎太郎くんが広島県代表として出場しました。



同窓会 ホームページのご案内

川野 良泰 (S61年卒)

この度、因島高校のFacebookページができました。こちらも、ご利用下さい。

<http://www.facebook.com/inkodoso>

近年の総会・懇親会や委員会の写真などが閲覧できます。ぜひ「いいね!」を押して購読してください。

因島高校同窓会のホームページ

<https://0845.boo.jp/doso/>

同窓会からのお知らせや最新情報、会報の掲載をしています。会報のバックナンバーも見れます。

広島支部のホームページもよろしくお願ひします。

<http://www21.ocn.ne.jp/~innosima/>

因島高等学校 定時制課程

令和6年12月～令和7年11月

<令和6年度>

◎予餞会 2/18(火)

体育館で卒業生、在校生、先生を男女3チームに分けてバスケットボールを行いました。次に、食堂で、ハヤシライスとポテトサラダを食べました。その後、クイズ大会、卒業生の思い出を振り返るスライドショーの上映を行い、定時制音頭を歌ったあと、在校生から卒業生に記念品を渡して、卒業生からの言葉で締めくくりました。



◎卒業証書授与式 3/3(月)

来賓をお迎えし、在校生も参加しました。生徒会長の谷泉亮一くんが送辞を述べ、卒業生代表として山口春奈さんが答辞を述べました。4年次生3名、3年次生2名が因島高校定時制を巣立っていきました。



◎令和6年度離任式 3/27(木)

井上校長先生には3年間、二田教頭先生には4年間、竹内さんには3年間、本校定時制でお世話になりました。3名の先生方、大変お世話になりました。今後も活躍されることを祈念いたします。



<令和7年度>

◎入学式 4/8(火)

今年の新入生は5名です。来賓の方々をはじめ会場のみなさんのあたたかい拍手に迎えられ、新入生が入場しました。青木結依さんが新入生を代表して「因島高校定時制の生徒としての誇りを持ち、有意義で実りある学校生活を送ることを誓います。」と、宣誓を行いました。



◎対面式・クラブ紹介 4/9(水)

新入生5名を迎えて対面式を行いました。在校生との自己紹介や、1年間の学校行事を紹介するスライドショーを通して、新入生が学校生活に早く慣れるための機会となりました。その後、クラブ紹介や施設見学、クラブ体験を行い、学校生活への期待を高めることができました。



◎新入生歓迎会 4/11(金)

今年度は、体育館でバドミントン大会を行いました。その後は、生徒会と生徒指導部の先生たちが愛情を込めて作ってくれた親子丼とポテトサラダを食べました。みんなで楽しく話をしながら食事をすることができ、とても良い時間になりました。



◎公開授業・進路情報交換会・PTA総会 5/9(金)

「公開授業・進路情報交換会・PTA総会」を行い、生徒たちの普段の様子を保護者や地域の方に見ていただきました。参加者からは「先生が1人ひとりにしっかり声かけをしてくれていてうれしかった」「楽しそうに勉強していて定時に来て本当によかった」「いい表情を見せてくれていたので高校生活を楽しくしているのが伝わった」などの感想がありました。

情報交換会では、進路指導部から、近年の就職・進学実績などの報告がありました。続いてPTA総会を行いました。



◎火災避難訓練 6/3(火)

火災を想定した避難訓練を実施しました。火災を知らせるベルが鳴り、生徒は担任の指示で速やかに避難場所へ集合し、全員の避難を確認しました。その後、消火器の使用方法について説明を受け、



水消火器を用いた消火訓練を行いました。最後に、因島消防署の職員の方から講話があり、生徒全員が災害に対する危機意識を高めました。

◎進路ガイダンス JSS講演会 6/17(火)

キャリア教育の一環として、就職支援教員（JST）の坂本欣也先生に「進路について」というテーマで講演をしていただきました。進路決定に必要なポイントとして、「自分の将来像を描くこと」「優先順位を整理すること」「時代性を考えること」の3点が示され、今年度も引き続き高校生の就職は「売り手市場」になるだろうとのお話がありました。

また、進学・就職いずれの場合も、自己分析と情報収集が重要であることや企業が高校生に求める人物像、面接で重視される点について、具体的に教えていただきました。



◎デイキャンプ 7/11(金)

生徒会行事のデイキャンプを、因島アメニティ公園で行いました。開会式後は自由行動となり、その後榎原商店さんの敷地をお借りして昼食をとりました。昼食で使用した野菜は、1年次生が学校園で栽培したものです。

午後からは、しまなみビーチに移動し、「因島水軍まつり小早レース」に向けて、初めての練習を行いました。片付けも協力して行い、自然と触れ合いながら、大いに親睦を深めることができました。



◎小早レース大会 8/31(日)

しまなみビーチで、小早レース大会が実施されました。予選レースが初陣となり、接触などのアクシデントもありましたが、全員で力を合わせてゴールまで漕ぎ切ることができました。残念ながら予選レース突破とはなりませんでしたが、続く順位決定戦では、最後まで力を振り絞り、1着でゴールすることができました。来年は今回の経験を生かし、予選レース突破を目指して頑張ります。



◎卒業生体験報告会 9/1(月)

2学期始業式終了後に卒業生体験報告会を行いました。飲食店に勤務する卒業生と郵便局に勤務する卒業生の2名が来校し、インタビュー形式で、現在の仕事の様子や在校生へ伝えたいことについて話をさせていただきました。

社会人としてたくましく働く卒業生の経験談を聴く、在校生にとって貴重な機会となりました。



◎合同運動会 10/4(土)

三原高校において、尾三地区定時制生徒会連合会第43回合同運動会を行いました。雨天のため体育館での開催となりましたが、種目を一部変更しながら、準備や練習の成果を十分に発揮することができました。

本校は学校アピールで水軍太鼓を披露し、各校が工夫を凝らした発表を通して交流を深めました。チーム対抗リレーでは、本校が決勝に進み、2位となりました。

保護者の方々にも応援していただき、けがもなく、思い出に残る運動会となりました。



◎ハロウィンパーティー～文化祭成功に向けて～ 10/30(木)

11月に行う文化祭に向けて気持ちを一つにする目的で、生徒会行事としてハロウィンパーティーを行いました。生徒会執行部から、今年の文化祭のテーマ「26彩～成長する仲間と繋ぐ絆～」が提案され、文化祭の内容や準備についての説明がありました。文化祭当日の役割分担後、ハロウィンパーティーの準備に取りかかり、仮装も行うなど、大いに盛り上がりました。文化祭に向けて、全校で気持ちを高める機会となりました。



◎令和7年度 オープンスクール・公開授業 10/31(金)

中学生・保護者・中学校教職員あわせて13名の参加がありました。本校校長の挨拶の後、学校説明を行い、定時制課程の特色や学校生活について紹介しました。その後、参加者全員を対象に施設見学を実施しました。

アンケートでは、「生徒が楽しそうだった」「のびのびと意見を言える雰囲気が良い」「学校がきれいでした」などの感想が寄せられ、好評でした。

学校説明終了後には公開授業を行い、中学生や保護者の方にも授業に参加していただくことで、定時制ならではのアットホームな雰囲気を実際に感じていただく機会となりました。



◎第38回 文化祭 11/14(金)

保護者の方々をはじめ、全日制の生徒・教職員や地域の方々にも来場いただき、例年以上に活気にあふれた文化祭となりました。今年のテーマは「26彩～成長する仲間と繋ぐ絆～」でした。このテーマには、定時制の生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、仲間と協力して学校を盛り上げていこうとする思いが込められています。

第1部では、食品バザーや授業で作成した作品の展示を行いました。第2部では、尾三定連加盟校からの挨拶や学校紹介のライドショーを上映し、有志による水軍太鼓を披露しました。最後は、因島高校定時制伝統の「いんのしま定時制音頭」を歌い、文化祭を締めくくりました。



地区大会・県大会・全国大会の活躍

<バドミントン部>

◎地区総体 5/18(日)

- ・女子シングルス1名 3位
- ・男子シングルス1名 優勝
- ・男子シングルス1名 ベスト8

◎県総体 6/15(日)

- ・女子シングルス1名 ベスト8
- ・男子シングルス1名 準優勝
- ・男子シングルス1名 ベスト16



◎全国大会 8/19(火)～8/21(木)

【全国高等学校定時制通信制体育大会第27回バドミントン大会】於小田原アリーナ(神奈川県)

- ・団体戦 男子広島県代表出場 2回戦敗退
- ・男子シングルス1名 初戦敗退

◎地区種目別選手権 9/21(日)

- ・女子シングルス1名 3位
- ・男子シングルス1名 3位
- ・男子シングルス1名 準優勝
- ・男子ダブルス1組 3位



◎第54回広島県高等学校定時制通信制種目別選手権大会 10/25(土)

- ・女子シングルス1名 ベスト8
- ・男子シングルス1名 ベスト8
- ・男子シングルス1名 ベスト8
- ・男子ダブルス1組 準優勝



「会報誌」の購読をお願いします。

同窓会本部では、会報誌の購読をお願いしています。本会計とは別に独立採算で運営しているため、購読の協力は必要不可欠なものです。会報誌が届きましたら、1回1,000円のご協力をお願いします。振込用紙に金額を記入し複数年分も受付けます。ご協力をお願いします。

口座番号 01330-4-109418 加入者名 因島高等学校同窓会

終身会費の協力のお願い

同窓生の皆様に、同窓会運営のため終身会費10,000円の協力をお願いしています。母校同窓会の存続、発展のために振込みをお願いします。同窓会の充実活性化は、母校の存続・発展につながります。是非皆様方にご理解をいただき、終身会費の振込みをお願いいたします。

口座番号 01330-4-109418 加入者名 因島高等学校同窓会

口座記号、口座番号が同じ番号のため、お手数ですが購読料何回分、終身会費分を明記してください。

7年度終身会費納入者

ありがとう
ございました

- 昭和36年卒 井戸南海子
- 昭和37年卒 池本奈良子 村上 延子
- 昭和40年卒 片木 誠文
- 昭和52年卒 岡野 司 村上 正和

終身会費納入者名簿
をご覧になる方は、
QRコードを読み取
ってください



終身会費納入者名簿

令和8年2月10日現在

終身会費を納入された方を掲載し御礼といたします。匿名、記載不要の方もおられます。なお、振込後、ご逝去された方もおられます。

昭和15年卒 松浦 幸子 昭和17年卒 森 春子 昭和19年卒 織田美恵子 昭和20年卒 佐藤力ツエ 昭和21年卒 越智 良子 柏原 初恵 藤岡 光恵 水岡登喜代 昭和22年卒 菅原美智子 古江登喜子 昭和24年卒 西原千佐子 昭和25年卒 石田 眞 大石和二郎 行年恒雄 長谷部利朗 原 眞事 福原 千秋 堀田 澄子 藤井 幸子 村上 武夫 矢田部文也 昭和26年卒 井川 勝登 柏原 邦祥 田坂 猪子 原山 晃 道原 伸司 村上 健一郎 毛利 格 吉村 夏子 昭和27年卒 宇里 恭子 大西 洋一 大沼 泰子 小野 英司 金山 桂子 喜井 幸子 高橋 重泰 横 将 村上 克司 岡野 敏房 村上 守孝 村上 安子 八木 安子 山本 華 若林 喬之 湯水 玲子 川道 玲子 磯部 眞人 円福寺祐七 大出 隆 岡野サエ子 小川 和子 小川 操 柏原 悦江 柏原 忠武 柏原 裕子 神山美奈子 田頭誠治郎 檀上 昌也 豊田 寛明 中野紀久子 檀原 義夫 藤井 正友 藤井 充孝	美野喜美穂 村上久澄 村上順子 森千鶴子 泰松 惇子 山中 紀代功 山野 功 昭和29年卒 田頭 圭行 田頭 忠行 今井 洋子 岡野 幸由 柏原 金枝 黒田 弘子 佐藤千鶴子 須永貴美子 高谷 卓兒 田中 善造 中空 善彦 福原 哲夫 本田 昭子 村上 節子 恒雄 裕亮 若林 昭夫 昭和30年卒 岡野 溢子 岡野又エミ 岡野代江美 奥川 節子 越智 逸美 柏原 忠幸 佐藤 恒人 嶋 康恵 杉原 直子 瀧澤 秀子 新田 郁子 橋本 昌史 幡地 森政 原山 親治 藤原 嘉子 高善 善高 巻幡 敏秋 万福 須榮 村上 馨 村上 眞幸 山崎登志雄 昭和31年卒 青山 義彦 赤松 慧子 大久保 綱枝 大森 義弘 岡野 貴典 織田 利之 柏原 伸勝 金山 功男 兼友 昭二 鳥田 佳子 川道 治雄 木曾 清子 木村 伸治 悠治 淳 杉本 竹中 多々良 枝 寺園 俊明 寺園 榮子 土居 通彦 中居 憲吾 中空 貞親 橋岡 澄子 藤井 松太郎 實 敏子 宮地 圭 弘江 義夫 青井 文 秋山 義朗 安達 英一	今治 満子 大西 隆子 小川 育子 楠見 光 児玉 寛司 定成 圭子 田頭 忠行 田頭 圭行 徳八重子 中野 順子 中納田 鶴子 堀本 昭子 松下の 博 水谷 幸夫 村上 文美 武文 眞子 村上 眞武彦 森 幸子 伊賀 幸子 石井 弘博 大出 和子 岡島 陸子 岡野 澄子 岡野 達 岡野 征治 岡野 保彦 岡本 丸金丸 小田 洋造 河川 操 木村 浩子 小林 一三 高橋 幸子 富田 和子 豊原 幹子 中辻美津子 中西智佐子 八田 雅得 原山美千子 藤木ムツコ 松浦 興一 松浦 正文 松浦セツ子 宮地 芳博 村上 義十郎 村上 博義 福造 敬子 山岡 弘子 山根 由則 昭和34年卒 青井 重幸 岡田 祥次 岡野トコヨ 柏原 律子 加藤 隆雄 加藤 誠 川上 崇哲 桑原 光保 近藤 都子 定成 昭義 佐藤 雅子 塩谷 恵美子 白石 久司 田頭 弘美 竹田 康生 福島 萬治 藤井 菊子 藤井 卷幡 宮地 正	孝之 満子 之 育子 光 寛司 圭子 忠行 八重子 順子 鶴子 昭子 博 博 幸夫 文美 眞子 武彦 雅彦 幸子 弘博 和子 陸子 澄子 達 徹 保彦 矩 丸金丸 誠子 洋造 操 浩子 一三 幸子 英 和子 馨 美津子 智佐子 雅得 千子 美千子 ムツコ 興一 正文 芳博 義十郎 博義 敬子 弘子 由則 昭和34年卒 重幸 祥次 トコヨ 律子 隆雄 誠 崇哲 光保 都子 昭義 雅子 恵美子 久司 弘美 康生 萬治 菊子 卷幡 正 眞	宮地 康福 村上公夫 上代子 安弘 洋造 村上 良一 山崎 美恵 山本 眞 和 眞 秋重 和子 稲田 睦子 太田 睦子 大出 謙吉 大場 謙吉 小笠原ミツ子 日下 亨子 児玉 洋美 正路 啓三 新庄 啓三 関野 美子 田島 治子 橋本 博弘 花岡 孝三 細谷 孝三 巻幡 如 村上 俊郎 忠 忠 陸子 蔵 早苗 尚徳 邦彦 和弘 大西 千恵子 岡野 浩司 岡野 芳郎 押川 君代 川澄 紀子 坂井 悉 里眞規子 白石 勝彦 白須 克己 田窪 宏臣 寺西 重郎 中山 昭 野原のり子 野波 敦子 野野 幸江 藤井美代子 横 国明 村上 邦史 村上 武憲 村上 忠弘 村上 寛浩 昭和37年卒 池本 奈良子 石井 宣子 大出 元紀 岡田 正子 加藤 重明 後藤 正氣 藤井 健次 高橋 隆子 高杉 俊 田口 美子 竹嶋 恭子 岡田中恵子 原山千恵子 村上 延子 森本 昇 八幡 程子 山形 惇子 昭和38年卒	胡本 實 大正 子 本 庸樹 岡野 秀人 岡野 正之 折野 晴子 柏原七三子 豪毅 實 黒木 紘子 小林 小寿恵 近藤トシ子 白石 桂子 野 洋子 田頭 晴美 高杉 照美 中山 隆弘 橋本 隆隆 藤井 美子 峯松 一正 峯松喜保子 宮地 上 村上 上 村上 上 村上 上 山内和子 山内 桂子 青木 宗人 荒田 幸子 池田 天 石田 洋 畦 徹司 宇野ゆみ子 榎本 史江 榎本 理智子 岡田 和彦 岡本 征二 金子 征二郎 川崎キシ子 楠森みどり 坂井けい子 高島 睦美 竹本 寛子 田中 秀美 友田 誠子 川中美智子 浜田 恵子 岡野 正男 星野 純子 前野富士子 植 健二 松尾 津子 村上 和夫 村上 徹憲 村上 祐司 村上 陽子 村上 穂穂 森上 武揚 守本 智子 吉田 美津子 岡田 京子 相川 京子 井川 義文 井口 善美 茨木 藤美 馬目 藤美 大出 園枝 岡田 松原 岡田 丸山 岡野 美代子 小江 克己 小沢 章 甲斐 清 片木 誠文	柏原 賢 柏原 輝男 勝島 太郎 勝島 次郎 上村 英子 河崎 積 岡 啓之 熊倉 公 合田 公 後藤 江 小林 章 佐垣 保男 木々 昭 田頭 浩 高橋 甫 竹本 登彦 豊貞 美子 西 政志 花田 純子 藤井 弘 藤井 達幸 星野 典 松浦 敏 宮本 江 向井 史 仲次郎 明 弘 彰 村上 一 村上 弘二 村上 正二 村上 晋 村上 智子 村上 徳明 村上 広志 村上 吉見 村上 眞理 昭和41年卒 岡野 博幸 岡野 恒二 岡野 光伸 小川多嘉子 金山 政輝 金山 保香 神山 由枝 公文 宏鷹 桑田 祥枝 小松千恵子 新庄 洋子 寺坂 紀之 土井川 恵子 富田 和孝 豊田 玲子 中島 周作 中島 君江 永久 八光 平山 哲 榎谷 暁美 松浦 朝雄 松原 朝雄 丸山 啓子 峯 美代子 山下 克己 山下 幸 石田 文枝 稲垣 真理子	賢祥 賢 輝男 太郎 太郎 次郎 積 啓之 公 公 江 江 章 章 保男 昭 昭 昭 浩 浩 甫 甫 登彦 彦 美子 子 政志 志 純子 子 弘 弘 達幸 幸 典 典 敏 敏 江 江 史 史 明 明 彰 彰 一 一 弘二 二 正二 二 晋 晋 智子 子 徳明 明 広志 志 吉見 見 眞理 理 博幸 幸 恒二 二 光伸 伸 多嘉子 子 政輝 輝 保香 香 由枝 枝 宏鷹 鷹 祥枝 枝 千恵子 子 洋子 子 紀之 之 恵子 子 和孝 孝 玲子 子 周作 作 君江 江 八光 光 哲 哲 暁美 美 朝雄 雄 朝雄 雄 啓子 子 美代子 子 克己 己 幸 幸 文枝 枝 真理子 子	岡野 修 岡野 鉄春 岡野 久春 岡野 久子 神辺 起子 近 佳代子 坂田 慎治 坂垣 三從 島田 民雄 田頭 俊幸 中岡 徹五 中郷 俊二 永井 太郎 浜本三ツ子 卷幡 唯水 益子 醇三 宮川 正博 宮地 寛治 村上 孝三 村上 篤道 村上 眞弓 山田 眞由美 弓場 常正 吉川 幹男 池田 誠 江嶋 昭吉 岡野 耕三 岡野 俊介 岡野 和信 越智 宗 柏原 陽子 金子 茂則 河内 政行 新谷 前俊 田中 啓恵 谷本 恵司 千賀 重美 津口 哲人 賢二 賢 戸田 賢二 中野 眞一 中山 眞一 西元 眞一 浜床 和郎 春川 一和 東谷 一代 堀田 弓子 益川 善美 益田 眞實 松浦 暁子 松浦 節子 松村 重子 岬 隆司 三浦 龍三 三宅 宗光 村井 厚子 村上 和志 村上 省吾 村上 多津砂 村上 富光 村上 博子 柳澤ゆき子 栗村 良司 栗村 英子	茨木 光 今井 和美 井川 信子 岡野 勝則 岡野 憲明 岡野 隆志 柏原 加志 金山 隆幸 宜野座 修二 木村 修 久保 公道 児玉 信二 小山 秀文 相方 あや子 相方 由子 佐久間 和子 清水 和子 近岡 恵子 辻 加代子 中村 保 蓮池 裕児 濱本 眞佐子 藤原 眞 船越 優行 星野 たかし 松浦 省志 宮地 聖二 村上 元信 村上 成子 村田 茂 毛利 豊夫 若江 通祥 味澤 重明 大出 正 岡田 雅弘 岡野 達朗 川原 英昭 源野 陽子 小原 友通 竹ノ畑 幸宣 中元 明則 鼠谷 眞理 花房 政美 林 康男 広田 耕三 三森 健次 村上 祐二 村上 善治 村田 理恵 弓場 丞 天野 隆文 池原 四郎 大出 積 大出 光利 岡野 久美子 岡野 敏江 小野 善博 小田 正忠 柏原 光明 川畑 茂子 木原 昌夫 木本 日出夫 楠見 治郎 内見 敏子 権田 英子 田頭 昇	田口 美 武森 信子 田中 裕紀 丹所 陸美 津内口謙治 寺坂 正明 得能 一行 富田 範之 中根 隆文 長崎 亮司 花岡 光香 濱田 早苗 廣正 麻理子 藤川 卓治 古市 澄子 古川 昌枝 松浦 由紀子 宮地 敏也 宮地 弘子 宮地 麗子 村上 恵子 村上 順子 村上 進一郎 村上 譲 村上 弘夫 村上 秀文 村上 誠道 山本 喜代登 井川 泰道 井上 美枝子 馬越 豪一 大本 清文 大山 千砂子 岡野 英策 岡野 清秋 岡野 寿史 岡野 正志 柏原 信彦 柏原 正則 川尻 康夫 木下 敏巳 清政 志津 齊藤 厚子 作田 香子 世良 和務 武田 克司 田代 京子 谷本 多喜子 谷本 敦子 岡野 幹夫 箱崎 初江 野崎 友幸 平木 保範 藤井 孝司 堀 昌己 卷幡 益田 松浦 利幸 三橋 浩七 宮地 孝 宮地 照子 宮本 佳子 村上 敬之 村上 隆志 村上 貴裕 村上 雅敏 山田 義人	山脇由起子 昭和48年卒 浅海 靖雄 東 信男 東 博美 井川 善央 石田 健司 上宮 健三 川上 秀保 桑原 浩史 小林 明俊 村上 悦洋 村上 典夫 矢野 邦子 四辻 修 昭和49年卒 味澤 敏之 大森 隆 岡野 卓也 近藤 正子 近藤 恭平 星野 昌史 益崎 秀輝 宮地 正行 村田 昌三 村上 克広 茂木 伸吉 吉原 誠 池本 弘 久美子 寛 岡野 正剛 岡野 隆一 岡田 修一 田頭 郁子 西尾 悦子 西島 祐一 西元 修身 山路 映子 南浦 映子 昭和51年卒 石田 博彦 清政 一三 櫻井 直美 砂原しのぶ 滝本 秀明 中郷 葉子 中村 栄一 別府 陽子 本多 久美子 松本 智恵子 宮地 秀実 山本 敦子 池本 公亮 岡野 貴司 倉永 美里 松村 和弘 村上 正和 山中 一秀 昭和53年卒 恵良 上枝 香川 一紀 吉川 利子 小林 千春 佐橋 映子 南 誠二 石井 史枝 杉本 承子 田頭 善郎 大西 光恵 西野 恒生 越智 裕文 小坂 和史	村上 洋恵 村上 正明 矢田部 伸美 山崎 秋友 昭和56年卒 秦 裕美 昭和57年卒 長弘 文子 松岡 恭子 焼家 敦朗 昭和58年卒 井川 和英 木戸 一男 曾我部 正 濱田 佳宏 松浦 正信 昭和60年卒 岡野 主裕 中山 健一 昭和61年卒 川野 良泰 佐々木園子 西野 明 村岡 聖子 昭和62年卒 吉本 嘉代 平成1年卒 伊東 満子 井上 誠 岡野 玉枝 小林 徹伸 平成2年卒 菅垣 一志 藤井 秀紀 村上 英太郎 仲 伸 柏原 秀幸 大出 彰 平成4年卒 北島 由希 村上 和豊 平成6年卒 長尾 碧理 水戸 梨沙 村井 義弘 平成15年卒 山下 榮子 平成17年卒 村上 晃輔 村上 見央 平成21年卒 森 美紀子 平成23年卒 砂田 貴恵 田頭 寿郎 矢田部 恰奈 矢田部 宗幸
---	--	---	--	--	--	--	---	---	--	---	---	---

※機関紙など印刷・送付を一括でお願いしている関係上、確認はしておりますが、終身会費の振り込み依頼が再送されました同窓生の方にはお詫び申し上げます。

支部だより

東京支部

東京支部の活動報告



因島高校同窓会東京支部
副支部長 吉原 敬典

東京支部長を務めております昭和49年卒の吉原敬典(よしはら けいすけ)と申します。何卒、よろしくお願いいたします。

さて、東京支部では昨年6月15日(日)にKKRホテル東京10階大宴会場「瑞宝」にて第14回東京支部総会を開催しました。



総勢120名の方々が集まり、盛大に行なうことができました。これも一重に因島高等学校を愛する方々の、母校に対する愛着心の賜物であると心より感謝申し上げます。同じ同窓として嬉しさがこみ上げてきた幸せな一日になりました。中西正典校長をはじめとして、本部から木村修二会長、柏原秀幸事務局長、各支部からも多くの方々にお越しいただき、まさに心強い限りでした。誠にありがとうございます。次回の第15回東京支部総会は、2028年6月18日(日)に開催予定しております。会場の選定から始まり、当日は趣向を凝らして来られた方々に喜んでいただきたく準備してまいります。再び多くの方々にお集りいただきたく願っております。

同日、新たな執行部が決定しました。私の他に東京支部の要になる星野昌史副支部長兼事務局長(昭和49年卒)、山中一秀副支部長(昭和52年卒)、池本弘会計幹事(昭和50年卒)、村上広監査役(平成6年卒)が担います。岡野徹顧問(昭和33年卒)をはじめとした6名の顧問の方々には支えていただきたく存じます。

早速、私は10月25日に御調高校同

窓会総会、また11月16日には星野副支部長兼事務局長が尾道商業同窓会総会にそれぞれ出席し、同じ広島県人として交流してきました。今後とも他校の同窓会と連携しながら進めていきたいと考えております。

最後になりますが、私と星野副支部長兼事務局長は同じ昭和49年卒ですが、同級生と定期的に集まり旧交を温めています。

1次会は居酒屋、2次会はカラオケと盛り上がっています。皆さま、今後とも東京支部をよろしくお願い申し上げます。

関西支部

関西支部活動報告

因島高校同窓会関西支部
前事務局長 村上 義弘

今年の報告は、前事務局長の村上義弘から報告させていただきます。

本来ならば、この関西支部の報告は、支部長の村上晋氏が報告すべきところですが、現在、体調不良で療養中のため、私のほうから報告させていただきます。

関西支部は、最近行事に参加いただく会員の方は、高齢の方がほとんどで、若年の方の出席が少ないため、行事も減らしており、平年は2月に、「ひと月遅れの新年会」のみとしております。残念な状況です。

昨年は、2月16日に新年会の開催を行いました。参加いただいた方は、いつもご出席いただいている方々でした。

今年本来ならば、関西支部の、第16回総会を開催するところですが、支部長の体調不良により、体制が整わず、来年に延期とすることしております。

他支部の方々には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解、よろしくお願い致します。

現在は、事務局長の植田憲治氏の基、体制を整えているところです。来年の関西支部総会は、京都で開催予定です。

7年前に京都で関西支部総会を開催した際は、舞妓さん、芸妓さん、各2名ずつお招きし、途中、踊りをご披露いただき、宴会中は、皆さんにお酌にも回っていただき、大盛り

上がりの総会となりました。来年の総会も、また、舞妓さん等の招待を予定しておりますので、他支部の方々も是非ご出席いただきたいところです。

来年、ご案内いたしますので、よろしく申し上げます。

～ 訃報 ～

関西支部長の村上晋さんが令和8年2月14日(土)に、お亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り致します。

広島支部

因島高校同窓会広島支部
支部長 松浦 利幸



昨年(2025年)、国内で初めて女性の総理大臣(高市早苗さん)が誕生しました。

物価高や海外情勢等諸問題を多く抱え、大変な中、精力的に動かれています。支持率も高く、少しでも早く暮らしが良くなる様、期待しております。

2026年は「丙午(ひのえうま)」。強いエネルギーで道を切り開く縁起の良い年とされたいです。性格が明るく素直、好奇心旺盛でエネルギッシュ、正直で裏表がなく周囲に元気を与える存在です。また、運勢、努力が実を結びやすく、仕事運、勝負運が良いとされます。特に丙午の方は、象徴・活力・変化・情熱・前進と、新しい挑戦に光が当たる年です。ちなみに、馬は古くから人々の暮らしを支え健康や豊かさ、幸福を運ぶ縁起の良い動物とされてきました。

さて昨年は、東京支部の総会があり、久しぶりの開催で心配されましたが、支部全員の頑張りにより、多くの参加者になり大盛況でした。

本当にすばらしい、いい総会でした。

最近、インフルエンザや新種のコロナも流行っており、どうぞ皆様、くれぐれもお気をつけていただきます。

同窓会の皆さんと会われると、必ず元気になります。どうぞ、それまでご自愛なさっていただきます様、心よりお願い申し上げます。

本部だより

近況活動報告

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

1. 全日・定時制入学式
4月8日(火) 因島高校
2. 第27回ゴルフコンペ
5月4日(日)
京覧カントリー
3. 会計監査
6月10日(土)
因島汽船(株)事務所
4. 東京支部 総会
6月15日(日) KKRホテル東京
5. 文化祭
6月13日(金) 因島高校
6. 本部役員会
6月23日(月) ナイスウエア
7. 常任委員会
7月3日(木) 因島高校
8. 令和7年度本部総会・懇親会
8月15日(金)
ホテルいんのしま
9. 体育祭
9月27日(金) 因島高校
10. 本部新年役員会
1月24日(土) お食事処 八咲
11. 会報誌発行 (第35号)
2月17日(月) 広報委員会
12. 卒業生同窓会入会式
3月2日(月) 因島高校
13. 定時制卒業式
3月2日(月) 因島高校
14. 全日制卒業式
3月3日(火) 因島高校

事務局長
 柏原 秀幸 (H3年卒)
 尾道市因島重井町474-19
 (新松浦産業株式会社内)
 電話 090-2295-7639



令和6年度の決算をご報告いたします

一般会計収支計算書

自 令和6年4月1日～至 令和7年3月31日
 単位 円

	科 目	予算額	決算額
収入	前期繰越金	3,435,499	3,435,499
	入会金	210,000	183,000
	購読料	300,000	247,000
	終身会費	100,000	100,000
	雑収入	21	1,483
	計	4,045,520	3,966,982
支出	会議費	100,000	91,114
	総会助成金	200,000	200,000
	通信費	200,000	182,397
	事務費	200,000	162,195
	印刷費	300,000	244,200
	総会費	200,000	253,403
	旅費	100,000	95,000
	事業費	50,000	40,000
	光熱費	20,000	14,167
	振替料	50,000	22,995
	計	1,420,000	1,305,501
	当期剰余金	2,625,520	2,611,481

因島高校同窓会 ゴルフコンペ 第24回

令和7年5月4日
 (日)、快晴、絶好のお
 天気の中66名の参加
 で熱戦…。



わきあいあいと旧交を深め
 楽しい一日でした。

優勝 矢野 哲臣 さん
 準優勝 大出 朝陽 さん

本年も5月4日のコンペ開催
 予定しています。ホームページ
 や会報誌でご確認ください。多
 くの皆様のご参加を頂きますよ
 う宜しくお願いします。

ゴルフ同好会 会長
 近藤 恭平

事務局 村上 公俊 (有)ナイスウエア内
 TEL0845-24-3128

お友達を紹介してください!

購読者数の減少を止めるため、
 会報誌購読者のご紹介を、友達
 一人でもお願いします。
 振込用紙を同封いたします。
 複数年分の振込みを頂いている
 同窓生にも届きますが、ご理解
 ください。お友達には入金があ
 り次第、会報誌をお届けします。

ふるさとを知ろう ⑪



観音山尾根の東端、標202.7m
 の鶴ヶ峰山頂の本丸から東方に
 二段、北東に七段の城郭を構え、
 空掘り、土塁、石垣が残る。
 布刈瀬戸、備後灘の展望が良
 く、源平合戦の時は平家勢が據
 り、南北朝の頃は蒲刈小早川の
 居城で、北麓の館跡とされる城
 見屋敷には、その墓と伝えられ
 る五輪塔数基が残る。

■所在地：尾道市因島椋浦町
 旧因島市の文化財探訪より

会社・お店・イベント 紹介記事募集

知らない土地でも、田舎に帰っ
 ても、因島高校卒業の同窓生と
 して、安心して頼める、遊べる、
 食べるをご紹介したいと考え、
 会社のPR、掲載記事募集を行
 っています。
 また、同窓生の方のイベント等
 企画・告知もご紹介します。
 ご希望の方は、自薦・他薦構い
 ませんので、記事と写真などを
 お送り下さい。

〒722-2323
 尾道市因島田熊町4553-1
 アーバンクレスト1-D
 広報委員長 川野 良泰
 (S61年卒)

電話 0845-22-0028
 携帯 090-7590-2931



寄稿

『不可能を可能にする挑戦』

映画『初恋芸人』に込めた想い



プロデューサー

峰松里香 (1999年卒業)

この度、映画『初恋芸人』のプロデューサーを務めさせていただきました。

私はもともとピアノを学び、これまでの人生を音楽とともに歩んできました。これまで、ミュージカル『海賊の唄—因島村上海賊物語』をはじめ、他団体での作曲・編曲・演奏、ピアノインストラクター、子育て支援センターでのリトミック講師、小学校・中学校での音楽発表会非常勤講師など、さまざまな形で音楽活動に携わってまいりました。また、夢を叶える講演会への登壇や、企業様の社歌制作、町の行事へのアーティスト出演なども経験させていただいております。



ミュージカル
『海賊の唄—因島村上海賊物語』

2022年春には、八朔発祥の地「因島」を全国に発信することを目的に、因島観光協会様よりご依頼をいただき、八朔のテーマソング『839-81 (はっさくさくじつ)』を作詞・作曲いたしました。

この楽曲は、幼稚園・保育園・小学校・中学校において、授業や運動会、文化祭、学習発表会などで使用していただいています。子どもたちが八朔発祥の地に住んでいることを誇りに思い、ふるさとへの愛着を深め、大人になって県外へ出た際にも自ら地元を発信できるように—そのような思いで関わらせていただいております。



八朔テーマソング・QRコードからお聴きになれます。

教育の場で、私が最も伝えたいことは、「何事にもチャレンジし、諦めない強い心を持つこと」です。

学校の統廃合が進み、「どうせ無理」「田舎で人数も少ないからできない」といった言葉を耳にする機会が増えています。そんな中で、私は後輩たちや因島に、何を残すことができるのだろうかと考えようになりました。

道路拡張によって昭和の街並みが次々と姿を消していった当時、私はまだ子どもで、何もできなかったことへの悔しさや寂しさが、今も心に残っています。

八朔のテーマソングを全国に発信する方法を模索していた頃、ちょうど映画『初恋芸人』の企画者と出会うことができました。因島の変わらぬ山や海、瀬戸内の風情を発信し、未来に残していける—こ

映画『初恋芸人』

— 因島を舞台にした初恋の物語 —

本作は、売れないピン芸人の佐藤賢治(原嘉孝)が、自分を肯定してくれる女性・理沙に恋をする切ないラブストーリーです。賢治の故郷という設定の因島では、しまなみビーチや恐竜ザウルくん、重井町の街並み、折古浜、因島大橋、はっさく屋など、多くのスポットでロケが行われました。この映画の実現に向け、因島高校同窓会の皆様には多大な協賛金をいただき、(株)サンロード、(有)安西工業、因島鉄工(株)、万田発酵(株)といった地元企業の皆様、そして多くの個人・団体の皆様にも温かいご支援をいただきました。皆様の力で本作は実現に至ることができました。深く感謝申し上げます。



これはまたとないチャンスだと感じ、迷うことなく映画プロデューサーに挑戦する決意をしました。

私のモットーは「不可能を可能にする」です。

自らが挑戦する姿を通して、ふるさとを未来へ渡し、不可能を可能にすることで子どもたちに夢や勇氣、希望を届けたい。その一心で、この映画制作に飛び込みました。

音楽と映画プロデューサーは一見異なる分野に思えるかもしれませんが、私の中では共通点があります。映画において音楽は非常に重要な役割を担っており、ゼロから形をつくり上げていくという根本の部分は同じだと感じています。

何事も、一步踏み出す勇氣と、必ず立ちはだかる壁に立ち向かい続ける覚悟の連続です。諦めたら終わりだからこそ、日々一歩一歩、前を向いて進み続けることが大切だと思っています。

今回の映画制作では、特に資金調達の面で多くの困難があり、何度も挫けそうになりました。しかし、企業様や応援してくださる皆様から、金銭面だけでなく精神面でも多大なご支援をいただき、ここまで辿り着くことができました。

皆様の温かい励ましとご協力により、映画『初恋芸人』は上映の日を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。本当に、本当にありがとうございました。

一人でも多くの方にこの映画をご覧いただき、同窓生の皆さまには、ふるさとの風景を通して、それぞれの思い出に浸るひとときとなれば幸いです。また、この映画をきっかけに因島を訪れる方が増え、島の活性化につながれば、これ以上の喜びはありません。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年2月～2026年2月

ふるさと便り



「因島にマクドナルドがやってくる！」

かねてより開店の噂があった「マクドナルド」が、因島田熊町の因島モール(内海造船田熊工場跡地)内に出店することになり、現在、スーパードラッグひまわり因島店の隣で建設工事が進んでいます。グランドオープン4月28日の予定。営業時間は午前7時から午後10時までで、ドライブスルーも設置されるということです。

学生時代、放課後に友人と語り合った思い出をお持ちの方も多いことでしょう。



これからは因島でも、気軽に立ち寄れる“あの味”が楽しめるようになります。帰省の折には、新しく生まれるこの場所で、旧友との再会やご家族とのひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。

ふるさとの風景も少しずつ変わりながら、新しい息吹を取り入れています。因島の今を、また会報でお届けしてまいります。

編集後記

雨雨ふれふれ 母さんが
蛇の目でお迎えうれしいな
かけましょカバンを 母さんの
あとから行こ鐘が鳴る
あらあらあの子は ずぶぬれだ
やなぎの根本でないている
母さんぼくのを かしましょか
君君このかさ さしたまえ
ぼくならいいんだ 母さんの
大きな蛇の目にはいってく
ピチピチ チャブチャブ ランランラン



偉大な詩人 北原白秋 の詩で『雨ふり』という童謡である。

子を思う親の気持、親に感謝する子の気持、友を思いやる心根、その思いに答えようとする友。

この短い詩の中に、人が生きて暮らしていくうえで、大切な大きなメッセージが込められているように思える。

日本人なら誰もが口ずさんだこの詩にある 思いやりの大切さに感銘した人も少なくはなからう。

国の内外ともに不安定な社会情勢に誰しも懸念をいだき子や孫たちの将来を案じてやまない。

あわただしい日々の暮らしの中で忘れかけて消えそうな記憶。

ふるさとの景色、におい、人情 時折思い起こしてみても…

青春期を共に過ごしたふるさとのあの頃こそ心のよりどころになるかも…
皆様のご多幸をお祈りします。

村上 公俊 (S49年卒)
〒722-2102 尾道市因島重井町5119-3
TEL 0845-24-3128 FAX 0845-24-2004

会報誌に
皆様の思いや
ニュースを
投稿して
下さい!!



事務局だより



事務局長 柏原 秀幸 (H3年卒)

この度、私が実行委員長を務めました「造船鉄工祭」についてご紹介いたします。

造船と鉄工のまち・因島にて、昨年11月16日に「造船鉄工祭」を開催いたしました。

本イベントは、私たちのふるさと因島を支えてきた造船・鉄工産業の現場を広く開放する“オープンファクトリー”形式で、因島鉄工業団地の企業および周辺企業の協力のもと企画したものです。

地域の皆さまに、その高い技術力やものづくりの魅力を体感していただくことを目的に開催いたしました。

当日は、普段は立ち入ることのできない工場見学や溶接・ものづくり体験、大型設備の公開などを実施し、多くの家族連れや子どもたちでにぎわいました。子どもたちが目を輝かせながら現場に触れる姿を目の当たりにし、改めてこの産業の大切さと未来への可能性を実感いたしました。

実行委員長として準備に携わる中で、因島の技術力はもとより、人の力、そして地域の結束の強さを改めて誇りに思いました。

私たちの母校から巣立った仲間の皆さまにも、ぜひこの取り組みを知っていただき、機会がございましたら会場へ足をお運びいただければ幸いです。

ふるさとの産業を次の世代へとつないでいく。その一助となれるよう、今後も取り組んでまいります。

また、本年の本部総会・懇親会は5月5日に開催予定です。

詳細につきましては、改めてご案内申し上げますが、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。